

# 組合だより

216号

2017年

11月28日

発行所 岡山大学職員組合

〒700-8530 岡山市北区津島中 2-1-1

電話 086-252-1111 (代)

7168 (内線)

直通 TEL&FAX 086-252-4148

ホームページ <http://hb4.seikyoku.ne.jp/home/ODUnion/>

メールアドレス [ODUnion@mb4.seikyoku.ne.jp](mailto:ODUnion@mb4.seikyoku.ne.jp)

目次：1~3: 団体交渉報告

4: 質問書への回答

4~5: 学習会報告

5~6: 全大教、文科省と会見

6: 全大教単組代表者会議報告

7: 旅日記

8: 単組だより（農学部）お知らせ

## 11/8 団体交渉報告 給与人勧準拠は維持、 ただし支給時期は遅れる見込み



2017年11月8日、給与引き上げ等に関する団体交渉を行いました。出席者は組合側は稲垣委員長をはじめ7名、法人側は高橋理事、後藤総務・企画部長、朝國人事課長の他人事課から5名陪席でした。組合からは11項目の要求書を出していました。それぞれについて簡単に団体交渉の結果をお伝えします。



### 1. 2017年の人事院勧告完全実施、ただし支給時期は遅れる見込み

岡山大学の給与は国家公務員準拠という学長裁定にしたがい、人事院勧告通りに国会で国家公務員の給与法が改正され次第、岡山大学の教職員の給与も上げるとの回答でした。また、その場合、これまで同様2017年4月分まで遡って改定することです。人事院勧告でプラス改定だったボーナスについてですが、こちらは国会で国家公務員のボーナス引き上げが決まった後大学内で処理しても12月のボーナスには間に合わないので、ボーナスの引き上げ分の支給は来年1月もしくは2月に遅れて行う予定とのことです。

今回の人事院勧告の対応で年俸制の方の給与は変わりません。

### 2. 退職金減額: 国家公務員に準拠して実施を予定

国家公務員の方の退職金が民間より高いということで、本国会で国家公務員の退職金減額が予

定されています。国家公務員の退職金が減額された場合、岡山大学でも同様に退職金の減額を行う予定とのことです。減額幅はまだはっきりしていませんが、おそらく数十万円というところではないかということです。組合としては退職金もらえるということを前提にわれわれは人生設計を行なっているのだから減額はやめてほしいと主張しましたが、それは難しいとの回答でした。

とはいえ、まだ国家公務員の方の退職金減額も正式には決まっておらず、岡山大学の対応も細かいところは決まっていないとのことです。実際に退職金減額という方針が決まったら組合にも通知をするということで合意しました。

なお、この退職金の減額は年俸制にも影響があるかもしれないとのことです。もともと年俸制は退職金を前倒しして分割し、月々の給与に上乗せして支払う仕組みだからです。ただ詳細は何も決まっていないとのことで今後の情報を待ちたいと思います。

### 3. 5年を超えての非常勤職員・特別契約職員の契約通知をすみやかに

組合からは、2018年3月で5年を迎える非常勤職員・特別契約職員について、2018年4月以降の契約の有無を早急に本人に通知するよう求めました。実際に岡山市の保育園の入所申し込みが11月21日と迫っており、申し込みをするためには2018年4月以降にも雇用予定であるという情報が必要になっています。また、2018年4月以降の雇用契約について部局によって現段階での通知の有無や取り扱いに違いがあり、大学で統一した取り扱いをしてほしいと求めました。

法人側からは、この問題は部局での取り扱いとなっていること、部局から5年を超えての契約の連絡があれば人事課としてそれに対応していること、2018年4月以降の雇用契約の有無の通知については速やかに行うよう人事課から各部局には通知していること、という回答がありました。また一部の部局では5年を超えて雇用契約をする場合は全員配置転換をするという説明があったと聞いているという話を組合側からしたところ、人事課としてはそれは承知していないとの回答でした。



すでに11月ですが、まだ2018年4月以降の雇用契約の有無が明らかになっていない有期雇用の方は、ぜひ部局の担当者に尋ねてください。必要なら組合がお手伝いしますのでぜひ組合に加入ください。

### 4. 配偶者手当の代償措置

昨年行われた配偶者扶養手当の削減の代償措置を大学側から提案するよう要求しました。大学側から何かいい提案はないかと逆に組合に問われたので、山口大学で銀婚式休暇を代償措置として新設したことを伝えました。法人側は、予算を必要としない代償措置を検討すると回答しました。

### 5. 人事凍結は部局と相談しながらも来年度以降も継続予定

組合からは現在行われている人事凍結を今年

度限りとすることを要求しました。法人は財政的な問題があるので、今年度限りとはならない、と回答しました。ただ、全ての人事を凍結する訳ではなく、部局と相談しながら進めていく、また昇任人事ストップということではない、と回答しました。

人事凍結により教職員の業務が増加することのないようにしてほしいとの組合からの要求に対しては、法人側は業務のスリム化が必要であると認識していると回答しました。

### 6. 地域医療連携推進法人の現状と今後について

組合からは昨年度までの森田体制で進められようとしていた地域医療連携推進法人、いわゆるOUMCについての現状と今後についての情報を明らかにすることを求めました。



法人側は、地域医療の今後を考えると、6病院の連携は必要であると認識しているが、すぐさま一つの法人にするというのは無理があり、まずは医療人材の育成と医療研究を連携して行う予定で、OUMCは仕切り直して、当面は岡大病院の別法人化に関しては調査・検討を行うと回答しました。

### 7. 看護師の夜間勤務手当について

現在岡大病院の看護師は月に8回を超えて夜間勤務があった場合通常の6700円の夜間勤務手当に加えて一回につき2000円増額になることになっています。しかし、実際に月8回を超える勤務のある人はそれほどおらず実質的に機能していないので、回数にかかわらず夜間勤務手当の2000円増を要求しました。また他大学病院は岡大病院よりも夜間勤務手当が高いとの資料も提出しました。

これに対し、法人からは月8回を超える夜間勤務を行って2000円の増額を受けている看護師は一定数存在しそれほど少ない訳ではなく、回数によらず増額をする予定はないと回答しました。

組合としては現状をもう一度きちんと把握し必要な要求を行っていきたいと思います。



## 8. 理学部・工学部で実施されている3年次編入試験について入試手当をつける方向で検討

組合からは理学部・工学部で実施されている3年次編入試験について、現在は入試手当がついていないが、これに入試手当をつけるよう求めました。

法人側は、理学部長・工学部長からも要請がきており、これについては入試手当をつける方向で検討していると回答しました。



## 9. 各種手当の支給明細を給与明細に記載する件

組合から入試手当などさまざまな手当がついているのかが給与明細を見てもわからないので手当の支給明細を給与明細に記載することを求めました。

法人側は、詳細に記載するには現在のフォーマットでは難しい、詳細は各部局の総務に問い合わせれば答えるので必要なら問い合わせしてほしいとの回答でした。また、確かに今の給与明細ではわかりにくいので給与明細の見方などの情報を例えばウェブのページに載せるなどの対応を検討すると回答しました。

## 10. 60分授業・4学期制について

組合からは60分授業・4学期制の見直しを求めました。合わせて、先日行われたWebClassでの「60分授業・4学期制導入後の変化に関するアンケート」についてその趣旨などを



あなたも組合の仲間になりませんか？



組合加入は、各単組役員もしくは組合までご連絡ください。メールでも申し込み出来ます。

問いました。

法人側からは、そのアンケートは教育担当理事の方で取られたものである、60分4学期制については改善すべきであると考えて現在課題を整理中である、さまざまな意見を聞き、改善のための準備期間も必要と考えている、弾力的な運用をするということも含めて教育担当理事と協力して検討していきたいと回答しました。

この問題に関しては法人側としても改善を考えているようですが、すぐには変わらないように思われます。



## 11. 年俸制について

組合からは現在の岡山大学の年俸制について、新規採用の人は全員年俸制で、しかも昇給するためには昇任しなければならないという制度で、「いい人」からどんどん他大学へ流出してしまうとして見直しを要求しました。

法人側は、「これでいい」という制度はなかなかないので、年俸制についても改善していくつもりはあるが、具体的にいつどうするかということには言えないとの回答でした。

今年の4月の榎野体制になってから初めての団体交渉でした。みなさんもお存知のようにこの4月から岡山大学では人事凍結に代表されるように財政危機を強調しています。高橋理事は「地道に岡山大学を良い大学にしていきたい」と団体交渉の場で発言しておられました。今回の団体交渉では組合の要求が受け入れられたものもあり、受け入れられなかったものもあります。今後も組合は労働者からの視点で要求していくべきことを要求していく所存です。

## 10/31 現給保障に関する質問書の回答が届きました

1. 2018年3月で現給保障が終了した場合、2018年4月の給与額が2018年3月の給与額より減額となる人の人数を職種別に教えてください。

**一般職員 48 人, 教育職員 218 人, 医療職員 23 人, 看護職員 41 人**

2. 減額となる給与の総額を教えてください。

**約 2,300 万円 (年額)**

組合だより 215 号でお伝えしたように、今回の現給保障は 2015 年の給与改革での影響を緩和するために 2018 年 3 月まで給与改革前の給与額を保障するというものです。組合ではこのまま 2018 年 3 月に現給保障が終了した場合、何人の人がその影響を受けるかを 9 月 26 日に質問し、10 月 31 日にその回答を得ました。

それによりますと、教育職員（いわゆる教員）で 218 名、それ以外の一般職員・医療職員・看護職員を合わせて 112 名が現給保障終了の影響を受けます。岡山大学全体の常勤職員数は、岡山大学のホームページによると、平成 28 年 5 月 1 日の時点で附属学園を含む教育職員の総数が 1384 名、そのほかの常勤職員の総数が 1269 名なので、教育職員のうち実に 15.6%、そのほかの職員でも 8.8%の人が現給保障が終了することによって給与が下がります。

給与の減少額は、総額が年額で 2300 万円とのことですので、平均すると一人年額約 7 万円になります。ただ、人によってこの減少額は異なりますので、多い人は 7 万円を越えての年収減となることになります。

ではこの 2300 万円というのは岡山大学によってどれくらいの金額なのでしょうか。例えば岡山大学平成 28 年度財務報告書（岡山大学のホームページに載っています）によると、平成 28 年度の岡山大学の経常費用（いわゆる支出の合計と考えてよいでしょう）は約 669 億円、退職金も含めた人件費の合計が約 344 億円です。2300 万円は人件費全体の約 0.07%になります。

岡山大学職員組合では、11 月 8 日の団体交渉において現給保障の継続を求めましたが、大学側は、財政上無理なので考えていないとのことでした。

## 9/27 学内教研集会「超高齢化社会の諸問題へ挑戦する大学院ヘルスシステム統合科学研究科（案）の設置計画について」を開催しました



2017 年 9 月 27 日(水), 日本科学者会議岡山支部との共催で学内教研集会「超高齢化社会の諸問

題へ挑戦する大学院ヘルスシステム統合科学研究科（案）の設置計画について」を開催しました。医工連携を目指す、いわゆる新研究科構想の内容を説明していただきました。講師は自然科学研究科生命医用工学専攻の五福明夫教授でした。参加者は約 20 名でした。

この研究科は工学部の各学科から関連の研究室を集め、2015 年に自然科学研究科生命医用工学専攻(学生定員：博士前期課程 57 名、博士後期課程 10 名)としてその母体となるものが設置されています。現在は工学部を卒業した学生のうち希望者が自然科学研究科生命医用工学専攻の院試

を受けて入学しているという状況です。



今回の学内教研集会では、教研集会実施時に文科省に申請中であった内容を説明していただきました。

この計画は、医工連携を行う新研究科の設立を目指し、SGUにも第三期中期計画にも盛り込まれているものです。現在では医薬学や保健学に加えて人文社会科学の関連分野も合わせ、医工連携だけでなく文理融合の活動も行う研究科として計画されているそうです。名称も「ヘルスシステム統合科学研究科」として、この教研集会が行われた2017年9月の時点では文科省の審査を受けているところでした。

教員37名、学生定員は博士前期課程80名、博士後期課程16名を予定しているとのことです。教員は、現在の自然科学研究科生命医工学専攻の教員が移行する他、医学系、薬学系、文系から集め、研究を軸とした4つの部門（医療系教員が所属するヘルスケアサイエンス部門、工学系教員が所属するバイオ・創薬部門、医療機器医用材料部門、人文社会学系教員が所属するヒューマンケアイノベーション部門）を設置する予定とのことです。

医工連携というと、例えば人工知能を利用した高性能の義肢であるとか、治療に用いる新しい素

材の開発とか、あるいは手術の支援システムとか、そのようなものが思い浮かびます。もちろんそのような研究テーマも扱うのですが、それに加えて文理融合ということで、社会学や法学の観点から患者さんの立場にたって医療や介護を考えるとといった研究分野もありうるというお話でした。目指すところは現在の自然科学研究科生命医工学専攻を母体として薬学や保健学、人文社会科学の関連分野を融合し、医療現場を構成する人々としくみ（ヘルスシステム）を分野統合的に科学する新研究科だということです。

特徴となるのは、基本的には学生全員が病院実習に行くカリキュラムにしていることです。ただ、病院実習といっても実際の医療に携わるわけではなく、病院の中の諸問題を観察し、医師と話をして現状の問題点を見つけるとかあるいは要望を聞き出すなどといった内容を考えているそうです。

フロアからは、やはり工学中心で、「統合」というには規模が小さいのではないかと？今のままでは人文の人がよそ者扱いになってしまうのではないかと危惧する、などの意見がでました。

この新研究科は、2017年11月、文科省から設置の認可が下りたとのことです。今後の動向に組合としても注目していきたいと思います。

## 全大教、9月20日に文科省と会見、運営費交付金増額などを要望



全大教は、全国の国立大学・高専・大学共同利用機関の組合の連合体として定期的に文科省と会見を行い有益な情報を得ています。今回は運営費交付金増額などの高等教育を巡る問題や高等教育機関に働く教職員の労働環境改善についての9項目の要望書を文科省に提出し、それに基づき2017年9月20日に文科省と会見を行いました。会見には中富公一全大教中央執行委員長他7名が臨みました。会見で得られた文科省の見解は以下のようになっております。

○来年度概算要求で国立大学運営費交付金等として1兆1409億円で対前年度439億円像を要求。そのなかで「3つの重点支援」を継続し、優れた取り組みは基幹経費化。

○若手人材支援37億円を要求し、若手のポスト確保に努めるなど、文部科学省としても若手人材確保に困難をきたしている現状を認識し措置しようとしている。

○学長選考の方法は各大学の判断を最大限尊重、説明責任が果たせれば良いと明言。教授会審議事項は学長判断で「意見を聴く」ことを追加できるので各大学の判断を。

○研究力低下に対しては、3つの重点支援枠、指定国立大学法人制度等の施策、財源の多元化で強化を図る考え。全大教はこれまでの「改革」の問題点を指摘。



○賃金水準低下や若手人材確保の困難について、文科省として基盤経費の必要性及び若手雇用状況が悪化していることを認識し、安定ポスト拡大支援の方向。

○「無期転換ルール」への対応について、引き続き各種会議の場で法の趣旨を踏まえた対応をお願いしている。有期雇用職員の無期転換を免れる、法の趣旨に反する事例は避けるよう指導に取り組んでいる。厚労省と連携して取り組んでいく。

会見の詳細な報告書は岡山大学職員組合事務室に置いてあります。ご興味をお持ちの方は是非事務室までお越しください。



## 10/28～29 全大教中国四国・九州単組代表者会議報告

10月28日(土)～29日(日)の2日間に渡り、オルガ岡山4階ギャラリー会議室において、全大教中国・四国、九州地区合同地区単組代表者会議が開催されました。合同地区代表者会議は、秋と春の年2回開催されており、秋の会議は例年岡山で開催されています。今回は、中国、四国、九州地区の15単組および中執などから24名の参加があり、活発な議論が交わされました。

初日は、主に有期雇用問題について報告と交流がなされました。岡山大学からは、組合だより214号を資料としてここ1年間の活動の成果を報告しました。執行部報告の中でも、岡山大学の活動は、名古屋大学や徳島大学と並んで、成果のあった活動として紹介されました。一方、執行部報告によれば、多くの大学では依然として無期転換ルールへの積極的な対応が行われない状況にあり、特に東北大学、東京大学の対応は世論の批判を浴びています。各単組の報告でも、無期転換に向けて団体交渉が進行中の単組が多い様子でした。高知大学では、有期雇用職員を対象にアンケート調査を行い、調査対象の619名中319名からの回答があり、高い回答率は、問題に対する関心の高さを表しているとのことでした。なお、高知大学のアンケート結果は、下記のURLで参照できます。

こぶし 2017年度第2号

有期雇用職員アンケート結果について

<http://kuunion.cocolog-nifty.com/blog/files/2017-2.pdf>

二日目は、賃金労働を中心に報告と交流がなされました。執行部報告では、今年の人事院勧告はプラス修正であるため、人勧水準を最低限とする給与改定で団体交渉に臨むよう確認し合いました。



た。一方で、給与改定とは別に国家公務員の退職手当が引き下げられる動きがあり、今年度末の定年退職者に適用される可能性が高く、これについても団体交渉を行っていくよう確認し合いました。単組報告では、研究費が少ない、人事凍結、駐車場有料化および値上げ、地域給が上がらない、年俸制に退職金が歳入されていなかったなど多様な問題が報告されました。



### 無料法律相談『ユニオン』をご利用ください

セクハラ、アカハラなどの労働環境問題、あるいは個人的な問題でも結構です。プライバシーを厳守するために、組合執行部とは別組織である人権部が相談を受け付けています。法的な相談をしたい組合員のために顧問弁護士を置き、希望者には、最初の弁護士相談を無料で受けられる「ユニオン」を設けています。法律相談は、随時、弁護士事務所で行います。相談を希望される方は、人権部までお申し込みください。

連絡先：竹島あゆみ 文学部教授 内線 7394

## ローカル線で行く！フーテン旅行記 第47回 駅のホームでちょっとしたグルメ！ 姫路駅・博多駅／小倉駅・名古屋駅

工学部単組 大西孝

寒い季節になりました。寒くなってくると美味しいのが、温かい蕎麦です。駅のスタンドで気軽に済ませられる立ち食い蕎麦は、寒い体を温めてくれる旅の名脇役です。今回は普通の駅蕎麦では無く、駅のホームで食べられる少しユニークな麺類をご紹介します。

岡山から新幹線でわずか 20 分、姫路駅の駅蕎麦は一風変わっています。地元の弁当屋さん「まねき食品」がホーム上に駅蕎麦のスタンドを出していますが、姫路駅の「えきそば」は、そば粉を使った和蕎麦ではなく、ラーメンのように黄色い中華麺が使われています。まねき食品のホームページによれば、戦後の混乱期でまだ小麦粉が入りにくかった頃に、うどんではなく中華麺を使い、和風だしを組み合わせで売り出したことに端を発するそうです。今では、中華麺以外に「うどん」と「和そば」も選ぶことができますが、周りのお客さんを見ても、ほとんどが中華麺を使った「えきそば」を食べています。エビの天麩羅に乗った「てんぷらえきそば」は、ダシを香りが効いたツユを天麩羅の衣が吸い、ふやけた状態でいただくのが最高で、中華麺とツユも絶妙のコンビネーションです。

次に場所を九州へ転じます。九州といえばやはり豚骨ラーメン。有名店も良いですが、列車の乗り継ぎの合間に、手短かに駅構内で豚骨ラーメンを食べられればなあと思うものです。



姫路駅の「てんぷらえきそば」。麺は黄色い中華麺で、ツユは普通の和蕎麦と同じ和風のものです。中華麺とダシの効いたツユ、ふやけた天麩羅の取り合わせが絶妙です。



駅のホームに赤い「ラーメン」の提灯。ここは繁華街ではなく、小倉駅の在来線ホームです。本州から九州へ渡ったことを実感する光景です。

そこでお勧めなのが、駅のホームにある立ち食いスタンドです。スタンドだからと侮ることなかれ、麺のゆで具合もしっかり聞いてくれます。九州らしく「バリ硬」なんていうオーダーも聞こえてきます。少し待つと、薄茶色の濁ったツユに細麺が入ったラーメンが出てきます。辛子高菜もセルフサービスで自由に入れられ、濃厚な出汁と細麺のつるつとした食感九州に来たことを実感します。替え玉も用意されており、九州のラーメンが手軽に味わえるうえに、並盛だと 500 円でお釣りがくる、財布にも優しいお店です。

次に東に移動して名古屋駅のホームを見てみましょう。ここには、名古屋名物「きしめん」のスタンドがあります。平たい麺と濃い目のツユの組み合わせが独特で、他の地域では味わえないものです。「きつねきしめん」の他にも、名古屋らしく「名古屋コーチンきしめん」や「みそきしめん」などもあり、次に来たときは何を食べようかと考えるのも楽しいものです。名古屋駅は新幹線だけでなく、信州や飛騨、南紀への特急列車も発着する華やかなターミナルで、遠くの行先を掲げた列車を眺めながら、駅のホームできしめんをすすするのは、旅行中のささやかな楽しみです。

最後に、筆者が一番思い出に残っている駅蕎麦をご紹介します。この駅蕎麦は、長野県の軽井沢駅で食べたものです。3 月とはいえ、高原の軽井沢は寒く、列車待ちの間に食した温かい天麩羅蕎麦は何よりのご馳走でした。蕎麦の味もさることながら、高原の澄み切った空気を吸いながらいただく温かい一杯は最高の思い出です。何気ない駅蕎麦ですが、旅の思い出に残る最高のグルメと言えるでしょう。



駅のホームで食する豚骨ラーメン。注文時に麺の硬さを指定でき、替え玉も用意されるなど、九州らしい本格ラーメンです。



名古屋駅の「玉子入りきしめん」。名古屋駅構内には複数の業者のスタンドが有り、食べ比べてみるのも面白いかもしれません。



## 単組だより

## 農学部単組から 芋掘りのご報告

農学部職員組合による恒例の芋掘りが、10月14日(土)に農学部附属山陽圏フィールド科学センターにて行われました。

今年は秋雨が続いていたため延期の可能性が懸念されておりましたが、当日は運よく雨も上がり、開催することができました。当日は曇り気味でしたが、逆に強い日射しを受けずに過ごしやすい気温の下で実施することができました。今年は例年どおりの参加人数となり、総勢158名(大人87名、子供71名)にて約226株の芋掘りを行いました。

今年初めて参加された方から毎年このイベントを楽しみにされている方まで、たくさんの芋を掘り出されていました。小さなお子様と一緒に芋掘りを通して親子のふれ合いを楽しまれ、収穫の

楽しさを実感していただけたのではないかと思います。また、例年同様、参加賞として全員にジュースやお茶等、子供さんにはお菓子も提供させていただき、収穫したたくさんの芋と一緒に持ち帰りいただきました。

来年度も秋空の下、ぜひ開催したいと思いますので、多くの組合員の皆様のご参加をお待ちしております。



## クリスマスパーティのご案内



おいしいものを食べながら出会いを楽しみ、日頃話せないことなどを語り合って楽しく過ごしましょう。どうぞご参加ください。

日時：12月14日(木) 19:00～

場所：心地ダイニング奈々伊

岡山市北区駅元町8-7 ミッド・シティ岡山1F

<https://www.facebook.com/nanaikokochi/>

内容：ミニ学習会、合唱、プレゼントなど

参加費：組合員および家族 1500円

未加入者 3000円

(有期雇用職員の方、または

組合員の紹介がある場合は2000円)

お申し込みは、各単組役員もしくは組合まで

mail: ODUnion@mb4.seikyou.ne.jp 内線 7168



法人職員の給与・労働条件は、労使交渉で決まります！

1人でも多くの皆様が加入していただくことで、労使交渉における組合側の発言力は大きくなり、よりよい労働条件を実現していくことができます。

あなたも組合の仲間  
になりませんか？

組合加入は、各単組役員もしくは組合までご連絡ください。  
メールでも申し込み出来ます。

..... き り と り .....

岡山大学職員組合加入申込書 (各単組役員もしくは組合事務所宛に提出してください)

岡山大学職員組合に加入します。同時に組合費の口座引き落としに同意します。

氏名:

性別: 男・女

所属:

連絡先: (内線・Eメールなど)